

『三四郎』 ダーターファブラ

Junko Higasa 2014.4.27

学生親睦会で、与次郎が時々「ダーター、ファブラ」と云う。しかしその後で「Il à le diable au corps」(悪魔が乗り移っている)という^{フランス}仏蘭西語を冗談半分に使った。散会したあとで三四郎が与次郎に聞く。

『ダーターファブラとは何の事だ』『希臘語だ』『与次郎はそれより外に答えなかった』ここから推測すると「ダーター、ファブラ」には隠れた意味がある。

まず、与次郎が口にしたのは間違いなくラテン語で、「data fābula(ダータ ファブウーラ：素晴らしい話だぞ)」ではないか。けれどそこには別の意味が隠されている。だから与次郎は「希臘語だ」と言ったきり黙ってしまったのだ。

与次郎の言葉を真実と捉えて、発音の似た希臘語を考えてみると「δε τα φαυλα(ゼ タ ファーヴラ：悪意に満ちていない・ひねくれ者じゃない)」という言葉が見つかる。そして先に挙げた仏蘭西語の意味につなげてみると「悪魔のように見えるかもしれないが、決して悪気はない」という弁明になる。

『ダーターファブラ…どうしても新時代の青年を満足させる様な人間を引張って来なくちゃ。西洋人じゃ駄目だ。第一幅が利かない……』『ダーターファブラの為に祝盃を挙げよう』『もう一つ。今度は偉大なる暗闇の為に』すなわち与次郎は大学側にも学生側にも悪気なく、広田先生を推薦しているのである。